

研究構想シート	学校名	安来市立山佐小学校
	氏名	杉山 倫子
A 研究主題 「主体的に考え、心豊かに学び合う子どもの育成」 ～自己を見つめ、他者とつながって考えを深め合う道徳科の授業づくり～ (3年次)		
B 研究の目的 自己を見つめ、他者とつながって考えを深め合う道徳科の授業のあり方を探る。		
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・上学年が下学年の面倒を見たり、遊んだり助け合ったりして、異学年の関わりが多い。 ・行事や活動をふり返る場面で自分なりの言葉で思いを伝えようとする子が多い。 ・異なる意見をうまくつなげて新しい考えを練り上げることができる。 ・自分の意見を通そうとしたり、必要以上に気を遣って人に合わせたりするなど、適切に合意形成することに課題がある。 ・批判的思考を避ける傾向があり、話し合いが深まりにくい。 ・多様な考えや価値にふれる機会が少ないため、新しい発想が生まれにくく固定概念が形成されやすい傾向にある。 	E 手立て・内容(研究仮説) 視点1 「他者につながり、物事を多面的・多角的にとらえ、考えを深める」ための手立てを工夫する。 視点2 「道徳的価値の深まりや自己の変容をふり返って表現し、学びを生かしていく」ための手立てを工夫する。 視点3 「自分の言葉で表現し伝え合う力を育てる」ための基本的な取組を工夫する。	D めざす子どもの姿 ○他者とのつながりを通して、考えを深める子 ・多様な見方、考え方に気づく子 ・異なる意見を大事にし、柔軟に物事をとらえる子 ・相手の思いや考えを受け取り、反応を返す子 ・感想や同調だけでなく質問や反論ができる子 ・慣れない場やメンバーの中でも、意見をいえる子 ○自分の言葉で伝え合う子 ・話し言葉や書き言葉で、思いを表現できる子 ・分からない言葉を調べる子 ・自分なりの表現を大切にしている子 ○自分自身をふり返って学びを生かそうとする子 ・自分と関連づけながら物事をとらえる子 ・自分の弱さや本音を受け止める子 ・自分で判断、選択して行動する子
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの視点を立て、伝え合いの場、考えの可視化 (ICTの効果的な活用)、ふり返りの仕方などを工夫した授業実践を通して、成果や課題を整理する。 ・「多面的・多角的」「道徳的価値の深まり」「変容」について、発達段階や個に応じて願う姿を設定し、発言やワークシート等で見取る。 ・言葉の力を育てるための視点を立て、語彙指導や、話す・聞く・書く力を育てるための基盤的な取組を、年間を通じて継続する。 	
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態、めざす子ども像、手立てについての検討 ・研究計画立案 ・広瀬町3校合同授業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・1学期授業研究 (高学年・中学年) ・夏季休業中 研修、授業構想、指導案作成 ・2学期授業研究 (低・中・高学年) 県教研大会発表 ・3学期授業研究のふり返り ・研究集録の作成 ・次年度の研究について 	